

令和2年度第1回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	令和2年8月5日（水）午前10時から12時まで 富山市役所第4委員会室
委員 （委員数5名） 出席4名	委員長 古田俊吉（富山大学名誉教授） 委員 新畑 彬（元大沢野町助役） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 金山睦美（税理士）
欠席1名	委員 彼谷 環（富山国際大学教授）
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続及び運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 令和元年度下半期分の審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	令和元年10月1日から令和2年3月31日まで
抽出工事 （落札率）	10件（対象工事件数268件） ① 一般競争入札（3件） ・堀川小学校校舎解体（その1）工事（85.00%） ・常西橋伸縮継手補修工事（87.33%） ・坂本浄水場解体撤去工事（96.31%） ② 指名競争入札（6件） ・富山公共下水道富居処理分区飯野地区下水管布設工事（99.61%） ・01災3630-1001山田中瀬農道災害復旧工事（99.49%） ・都市計画道路綾田北代線改良（第1工区）工事（99.03%） ・準用河川中川河道掘削（第1工区）工事（99.74%） ・佐田川改良工事（99.28%） ・市道羽根蓮花寺線側溝補修工事（99.11%） ③ 随意契約（1件） ・奥田北小学校大規模改造（その2）機械設備（給排水）工事（99.95%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	令和元年度下半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

No.	意見・質問	回 答
①	「堀川小学校校舎解体（その1）工事」における応札者について、1番手と2番手の入札価格が近くなっているが、特定の積算ソフトを使うことで、入札価格がほぼ同じになることもあり得るのか。	解体・営繕工事については、積算ソフトを使用しておらず、業者は経験と勘を基に応札するものと認識している。1番手、2番手の業者は、ともに解体を専門とする業者であり、同水準の企業努力をされて、今回の結果に至ったと考えている。
②	「奥田北小学校大規模改造（その2）機械設備（給排水）工事」における特命理由について、入札が2回不調となったとあるが、その原因はどのようなことが考えられるか。	主な理由としては、東京オリンピックとの関係から、下請け業者を確保できなかったこと、世代交代の中で若手の技術者が不足していることが挙げられる。
③	「常西橋伸縮継手補修工事」における応札者について、1番手と2番手の入札価格が非常に近く、調査基準価格をわずかに上回る結果となっているが、その原因はどのようなことが考えられるか。	調査基準価格は事前には公表されておらず、各者が積算されて、それぞれの強みや企業努力によって応札されたものと考えている。
④	「坂本浄水場解体撤去工事」について、応札が一者であった原因はどのようなことが考えられるか。適正な収益が得られないということではないのか。	適正な収益が得られないことはなく、各業者の手持ち工事の状況や、技術者を配置できないことが理由であると考えている。
⑤	「01災3630-1001山田中瀬農道災害復旧工事」の指名業者について、市外に近い業者も選定されているが、どのような指名基準であったのか。	Bランク業者を2者、工事場所に近いところから選定した。また、運用基準に基づき、Cランク業者も7者指名した。
⑥	「準用河川中川河道掘削（第1工区）工事」について、Dランク業者が全て辞退された理由はどのようなことが考えられるか。また、国庫補助の割合はどれほどか。	国庫補助の割合は3分の1であり、残りが市の負担である。辞退理由としては、業者が本工事で必要となる重機を、東京オリンピックの関係で手配できなかったことが挙げられる。
⑦	「市道羽根蓮花寺線側溝補修工事」について、指名業者が辞退されたのは、国庫補助が原因ではないのか。	本工事と同時期に富山県が発注した工事があった。CランクやDランクの業者は技術者の数が少なく、富山県が発注した工事に技術者を配置したため、本工事には技術者を配置できなかったものと考えている。